

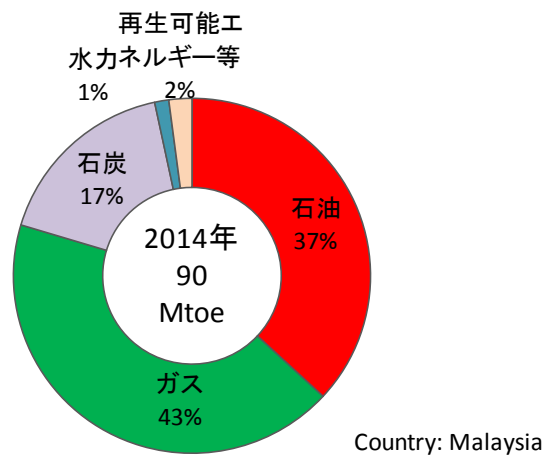
1-8 マレーシア

1. サマリー

1. エネルギー事情

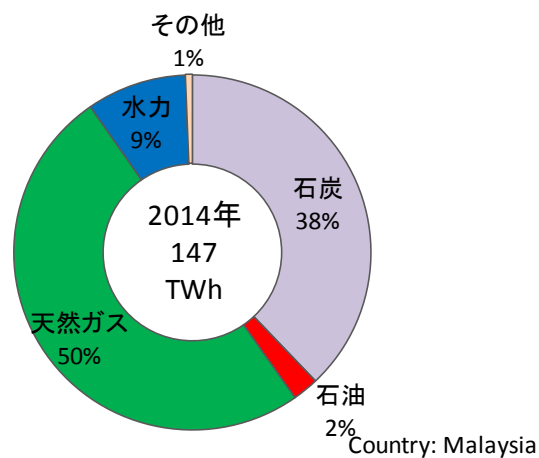
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 90 百万 toe (日本の 0.20 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 3.00toe (日本の 0.86 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 106%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 220.5 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 18.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 7.37CO₂ 換算 ton (日本の 78.9%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2015年末) : 原油 14.2 年、天然ガス 17.1 年、石炭 n/a

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- マレーシアのエネルギー政策は、首相府直轄の経済計画局 (EPU: Economic Planning Unit) が管轄しており、石油、ガス、電力等の監督機能は EPU やエネルギー委員会 (EC: Energy Commission) がその任に当たっている。

(2) 基本政策

- 持続的な経済成長を維持していくため、安定的で廉価なエネルギー資源を国内市場へ供給することを基本政策としている。このため、エネルギー供給源の多様化、エネルギー資源の有効利用、および環境保護の3点をその基本理念としている。石油については国内資源温存政策を採る一方で、海外での探鉱開発戦略を展開しており、天然ガスについても、積極的な開発プロジェクトを展開している。

(3) 最近の動向

- Bintulu における4つ目のプロジェクトとなる PETRONAS LNG 9 では、2016年6月に JX エネルギーが Petronas の子会社 Petronas LNG9 の発行済み株式 10% を取得する契約を締結したと発表した。
- Bintulu 沖における FLNG 船による洋上液化基地計画である PETRONAS FLNG 1 では、2016年11月に Sarawak 州沖合 Kanowit ガス田からの原料ガスを受け入れ、試運転を開始した。翌12月には LNG 生産を開始した。
- また、Sabah 州沖で計画されている PETRONAS FLNG 2 に関しては、2016年2月にプラント開発の延期が発表され、翌3月には操業開始を2020年にするとの見直しが行われた。
- Petronas は2016年5月に、JOVO グループ (九豊集団) との間で2023年まで LNG を供給することで契約を更新したほか、2016年10月には Petronas LNG UK Limited が Qatargas との間で、既存の契約期間を2023年まで延長することで合意した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- わが国における2015年度のマレーシアからの LNG 輸入量は1,560万 ton で、総輸入量 (8,357万 ton) の18.7%を占めた。
- 2016年1月、中国電力は三井物産から 3B Power の株式を取得し、Negeri Sembilan 州 Jimah 地区で計画されている石炭火力発電所建設計画への参画を発表した。
- 2016年3月、東邦ガスは Petronas LNG との間でポートフォリオ契約による LNG 売買契約を締結したと発表した。2017年4月から10年間にわたり年間7~9隻を購入する。
- 2016年10月、東京ガスは Petronas LNG との間で、東南アジアを中心としたグローバルなエネルギー市場において、LNG・天然ガスのバリューチェーンにおける幅広い事業活動での連携を追求することを目的に、覚書を締結したことを発表した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Malaysia

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		90 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		3.00 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.29 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		106 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		220.5 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		7.37 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	17 %
	石油	37 %
	天然ガス	37 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	2 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-6 %
(9) 石油の輸入依存度		7 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA